7月9日（木曜日）「主の忌み嫌うもの」

【新改訳 2017】

箴言　6•16－19

「主の憎む者が６つある。いや……７つある。高ぶる目、偽りの舌、罪のない者の血を流す手、邪悪な計画を細工する心、悪へ走るに速い足、まやかしを吹聴する偽りの証人、兄弟の間に争いをひき起こす者」

　きょうは、視点を変えて、主に喜ばれることとは反対の、忌み嫌われることを学びます。

　これらのことは、私たちが神の祝福を受ける妨げになるからです。私たちは、生来罪深いため、自分では気がつかないでこのような悪を行っているかもしれません。

　私たちの目、舌、手、足、そして心はどうでしょうか。高慢、偽り、流血、悪意、悪行、争いなどの協力者ではないでしょうか。そうであれば祝福は受けられません。健康診断のように、悪いものがない

か、主に調べていただき、もし少しでもあれば、早期治療をしていただきましょう。「主よ。私を調べてください」（詩篇 139•23、24参照）。

～祈り～

主よ。自分の罪深さに気づいたり、また、素直にそれを改めたりすることができない者です。どうぞ、御霊の助けをお与えくださり、それができるように助けてください。そして、悔い改めることができますように。

【学びのために】

私たちは、自分の霊性や罪の具体的なチェックをしたがりません。それは、からだの調子があまりよくないのに、健康診断をしたがらないのと似ているのではないでしょうか。考えてみましょう。